**卒業研究タイトル（40文字以内）**

**大前研究室　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日大　太郎**

**1. はじめに**

大前の研究室では、このテンプレートファイルを使用して、卒業研究概要を作成してください。文字サイズなどの細かい設定がありますので、よく注意してください。また、この概要を提出しないと卒業できないので、心に留めてください。

概要の「はじめに」では、何のために何をやるのか、明白に記載してください。

**2. 文字サイズとフォントについて**

　文字サイズとフォントについては、下記の指示に従ってください。

・タイトル: 12pt、MSゴシック、**太字**、40文字以内

・研究室名と氏名: 10pt、MS明朝、**太字**

・章タイトル: 10pt、MS明朝、**太字**

・本文: 10pt、MS明朝

・図表キャプション: 10pt、MS明朝

・数字とアルファベット: いかなる場所においても、明朝やゴシックを使用せずに、Times New RomanかCenturyを使用してください。また、半角文字を使用してください。本文中に太字やアンダーラインを引くような強調行為はやめてください。

**3. 余白と行数について**

　基本的にはテンプレート通りですが、念のため記載しておきます。

表１　日焼け止めの価格

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平均価格（円） | 内容量（L） | 1L当たりの価格（円） |
| A | 1,354 | 50 | 27.08 |
| B | 2,856 | 60 | 47.60 |
| C | 707 | 40 | 17.68 |
| D | 2,303 | 60 | 38.38 |
| E | 832 | 80 | 10.40 |
| F | AAA | AAA | AAA |
| G | DDD | DDD | DDD |

・上: 21mm、左右: 18mm、下: 29mm

・文字数: 45行、22字×2段の2段組

・p1の本文開始行数: 5行目

**4. 図表について**

理工系は、図表を原稿の4隅に配置するというルールがあります（表1, 図1を参照）。**本文と本文の間に図表を配置する行為は、禁止**としますので、やめてください。また、図のキャプションは図の下に、表のキャプションは表の上に記載してください。1段に収まらない大きな図表は、2段にまたがってもokとします。「挿入」→「図形」→「正方形/長方形」で貼り付け欄を作り、その図形の色を白、枠線を消し、その図形内に図表を貼り付けてください。

書くことがないからといって、**大量の図表を貼り付ける、不自然に拡大する行為**は、やり直しを命じますので、注意してください。

**5. 表現の統一について**

　句読点は全角「、」「。」か全角「，」「．」のいずれかに統一してください。半角の「,」「.」はNGです。また、「とき、こと、など、すべて、そのほか」は表記ゆれを起こしやすいので、すべて平仮名に統一してください。「1人、一人、ひとり」なども表記ゆれを起こしやすいので「1人」のように、「半角数字＋単位」を基本としてください。



図1 アンケートの調査結果

**6. 参考文献について**

必ず2件以上を貼り付けてください。また、参考文献中の句読点は、半角「,」「.」を利用してください。英語の論文などを引用する場合があるためです。参考文献は、参考文献中の記載方法を真似してください。1)は書籍、2)は論文、3)はWebページとなります。



図2 2段にまたがる図（表でもokです。意図的なスペース稼ぎはNG）

なお、Webページは「てきとうな人がてきとうな知識でてきとうなことを書いている」場合が多いので、基本的には推奨されません。新聞社が公開しているオンラインニュースなどに限定してください。また、ハイパーリンクは解除してください。

英語論文の氏名は、名前を省略、苗字はすべて記載を原則とし、名前を前に出すという記法を採用してください。例えば、Sato Ichiroの場合は「I. Sato」となります。「Sato Ichiro」や「Sato, I.」はNGです。John Williamsの場合は「J. Williams」が正しく、「Williams, J.」や「John Williams」はNGです。Google Scholarなどの論文検索サイトでは「Williams, J.」などのNG記法となっている場合がありますので、ご注意ください。

**7. 分量について**

指定されたスペースの90%以上、埋めてください。90%未満の場合は再提出とします。なお、書くことが多すぎて2枚に収まらない場合は、事前に相談してください。自分で削る部分を判断しておかしな文章になると、やり直しになる場合があります。多くの場合、相談した方が時間の節約になりますから、ご注意ください。

**＜参考文献＞**

1. 田中太郎, 佐藤二朗, 書籍タイトル, 出版社, 20xx.
2. J. Williams, 論文タイトル, XXX学会論文誌, vol.x, no.x, pp.12x-13x, 20xx.
3. 大前研究室, python環境構築, http://int-info.com/index.php/env/, 閲覧日: 2013年5月4日）